

委員会レポート

委員会活動として閉会中に行った所管事務調査の内容を、各委員会は第6回定例会において報告しました。
※内容は要約されています。報告書の全文はホームページでご覧になれます。

将来の公園の在り方は

町長 人が集う公園づくりを考える



高橋 政悦 議員

問

現在、本町には「清水公園」、「有明公園」、「清水中央公園」等の都市公園が14カ所、その他近隣公園、児童公園が6カ所設置されている。条例に規定されている、地域住民のコミュニケーションやレクリエーションの拠点、災害時の避難場所としての機能を有するなどの公園事業に対する規定との整合性、町民が公園に求めるニーズや満足度の変化に対する対応策、遊ぶ、憩う、運動、健康、緑化、防災と多角的な観点から公園利用の現状と将来の公園の在り方について伺う。

町長

清水公園は、主にパークゴルフやバーベキュー、ボート、散策などの利用者が多い。
有明公園は、主に運動を目的とする公園で、地震災害時の指定緊急避難場所にもなっている。清水中央公園は、町民憩いの場で、同じく、地震災害時の指定緊急避難場所にもなっている。その他の都市公園は、街区内に居住する方が容易に利用できる公園の位置付けとなっている。清水公園は再整備につ



中央公園で行われていた「しみずしゃっこい祭」(1/19)

いて検討を行っており、町民の憩いの場とするとともに、休憩型観光により賑わいのある親しまれる公園を目指す。
有明公園は現状の運動広場を保全し、スポーツをとおした健康の増進を図り、防災対策を兼ねた公園を目指す。
清水中央公園は現状の景観を維持し、異世代のくつろぎができる場と防災対策も兼ねた公園を目指す。
その他の公園も含めてそれぞれの特質に応じた公園づくりを考えていく。

街灯の明るさ・色に統一感を

町長 LED交換時に配慮

問

本町の安全で安心な地域づくりに向けた街灯・防犯灯の設置基準あるいは町の責務、町民の自主的な活動支援に対する施策について伺う。

問

「夜間、道路を歩くときに暗さを感じる」との声を耳にする。LED照明への転換が進んでいる中、LED照明の特徴を踏まえた上での設置、照明の色等の統一も必要ではないか。

町長

設置基準はなく、市街地中心部や通学路などに連続した街灯を設置し、住宅街は電柱1本置きに街灯器具を設置している。また、街灯の点灯確認や住宅街の新築等による状況に応じた新設や維持管理などを行っている。町民の自主的な活動支援については、現在、街灯の設置・管理はすべて町で行っていることから、今後も同様の対応を行う。

町長

現在のLED照明は、効率的で消費電力を抑えられるが、他の照明器具と比べて光の届く範囲が多少狭いので、歩行者の安全に支障がないよう配慮する。
また、ナトリウム灯からLED照明へ転換していくことで、色の統一を進めていく。

総務産業常任委員会 調査報告

町有林の現状

調査日 令和元年10月31日

町有林の概況、整備・保全の現状、今後の計画などを把握するため、農林課から説明を受けて調査を実施した。併せて、今年度植栽を行った箇所と平成28年台風被害等に係る工事箇所の一部を現地調査した。

本町は、地区ごとの現状と課題を踏まえ、「自



【現地調査】
美蔓地区の防風保安林では、林齢49年生のカラマツを伐採した箇所に、面積1・44ヘクタール、総本数2880本のクリンラーチとトドマツが植栽され、下刈りや野ねずみの駆除等により適切に管理されていた。

然環境の保全と環境との共生」を目指し、森林の持つ水源の涵養（自然にしみこむように、養成すること）と環境保全機能、エネルギーなどの資源として森林整備・保全機能が発揮される森林づくりを進めるため「清水町森林整備計画」（平成31年4月〜令和11年3月）を策定し、目標達成に向けて取り組んでいる。

石山地区の国有林内にある台風により林地崩壊が発生した川沿いの森林を現地視察し、北海道森林管理局十勝西部森林管理署管轄のペケレベツ川災害関連緊急事業として平成29年3月8日から平成30年3月16日までの工期で実施されたコンクリート谷止工2基の完成状況を確認した。

【総括】

本町の総面積の約44%を占める森林は、木材生産をはじめ、水源涵養、山地災害防止、生活環境や景観の保全、地球温暖化防止等、多面的な機能を持った財産である。風水害の防止対策等、本町の立地条件に応じた適正な施策により今後も健全な森林保全・育成を図り、森林の持つ大切な公益的機能の充実を図ることを望み、所管事務調査の報告とする。

広報広聴常任委員会 調査報告

議会広報紙の編集方法および体制

調査日 令和元年9月26日、10月2日〜3日、10月11日

遠軽町議会・鷹栖町議会を訪問し、議会広報紙の編集方法および体制について調査を実施した。遠軽町議会では、LINE公式アカウントを導入し議会情報を発信している。予算審議での大科目ごとの予算の特色と質疑・答弁がわかりやすく構成されており、今後の参考になった。

鷹栖町議会では、議会だより作成のほとんどを議員が担っていた。「速



報版」を発行することで議会だよりの紙面に余裕ができ、読みやすくなっていた。「追跡レポート」は任意の委員会をつくらせて発行費用等を負担しており、公式な議員活動に縛られない活動を試行錯誤しながら実施されていた。
両町とも、非常に苦勞しながら広報広聴を通じた議会の活性化に取り組んでおり、とても参考になった。

